

## 第 14 回 大杉佳美さん (ピジョン株式会社)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 14 回目は、大杉佳美さん (ピジョン株式会社) にご執筆いただきました。

専門は発達心理学です。学部・大学院在学中は、乳幼児の認知発達について研究してきました。その時にお世話になった保育園の副園長先生に「あなたの研究がどう保育に役立つの？」と問われ、研究するだけでは何もならないと痛感しました。これをきっかけに、研究と現場の双方にとってのメリットや意義は何かを強く意識するようになり、これが、私の研究に対する姿勢の原点となりました。

私の仕事は、商品開発に関わる研究の立案と実施です。乳児の発達過程やその要因を研究によって明らかにし、その成果をもとに商品やサービスのあり方を提案します。生後 0 ヶ月から 2 歳ごろまでの乳幼児やその家族を対象に、病産院、ご自宅、研究所で、小児科や歯科の先生、助産師の方などと研究に取り組みながら、一方で、企画、設計、デザイン、マーケティングなどの担当者とともに、乳児や家族にとって最良のモノやサービスを追究しカタチにしています。私が大切にしていることは、乳児の成長・発達を阻害しないものであること、育児者の些細な疑問や悩みの解決となるような有益なモノや情報であること、そして、人々に幸せをもたらすものであることです。研究成果が具体的なカタチを持ち、それが人々に役立つようになることのプロセスに、心理学の研究者として関われることの充実感と責任を感じながらも、初心を忘れずに取り組んでいきたいと思っています。

大杉佳美さん (Yoshimi OSUGI) さん

【ご所属】ピジョン株式会社 中央研究所 開発本部 開発推進部 ベビー・ママ研究グループ

【ご連絡先】yoshimi.oosugi@pigeon.com

【ホームページ】<http://www.pigeon.co.jp>